

SDS 登録 No.00330192-JP4

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	レクサス純正ソフトトップコート 本剤
製品分類	布用コート剤
主な用途	自動車用ソフトトップ撥水撥油コート剤
供給者の会社名称	シーシーアイ株式会社
住所	〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12
担当部門	カーケミカル事業本部 技術本部 技術 2 部
電話番号	0575-24-4632
FAX 番号	0575-46-7710
発行日	2023 年 2 月 28 日

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

## 物理化学的危険性

爆発物	区分に該当しない (分類対象外)
可燃性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
エアゾール	区分に該当しない (分類対象外)
酸化性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
高压ガス	区分に該当しない (分類対象外)
引火性液体	区分 2
可燃性固体	区分に該当しない (分類対象外)
自己反応性化学品	区分に該当しない (分類対象外)
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない (分類対象外)
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分に該当しない (分類対象外)
有機過酸化物	区分に該当しない (分類対象外)
金属腐食性物質	区分に該当しない
鈍性化爆発物	区分に該当しない (分類対象外)

## 健康有害性

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない (分類対象外)
急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない

SDS 登録 No.00330192-JP4

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分に該当しない
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（麻酔作用、気道刺激性）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（血液、肝臓）
	誤えん有害性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分 1
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

## GHS ラベル要素



絵表示又はシンボル：

注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H315	皮膚刺激
H319	強い眼刺激
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ
H361	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
H373	長期にわたる又は反復ばく露による血液、肝臓の障害のおそれ
H400	水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書入手すること。
P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233	容器を密閉しておくこと。
P240	容器を接地しアースをとること。
P241	防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器】を使用すること。
P242	火花を発生させない工具を使用すること。
P243	静電気放電に対する措置を講ずること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P264	取扱い後は手をよく洗うこと。
P271	屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P273	環境への放出を避けること。
P280	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

## SDS 登録 No.00330192-JP4

## 製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

P301+P310	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P302+P352	皮膚に付着した場合：多量の水／石鹼で洗うこと。
P303+P361+P353	皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
P304+P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308+P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P314	気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの応急措置を見よ）。
P331	無理に吐かせないこと。
P332+P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P337+P313	眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P370+P378	火災の場合：消火するために指定された消火剤を使用すること。
P391	漏出物を回収すること。

## 保管

P403+P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403+P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

## 廃棄

P501	内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に業務委託し廃棄すること。
------	--

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

## 含有成分及び含有量

化学名又は一般名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR 法 No.
n-ヘプタン	81.5～99.4	142-82-5	(2)-7	該当 (526)	該当 (731)
アセトン	0.1～3.5	67-64-1	(2)-542	該当 (17)	非該当
フッ素樹脂	0.5～15.0	非公開	非公開	非該当	非該当

注<sup>(1)</sup> 該当成分は含有するが、混合物のため非該当

注記 化審法 No：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報告示番号

安衛法：労働安全衛生法

PRTR 法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

SDS 登録 No.00330192-JP4

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

#### 4. 応急措置

##### 吸入した場合

- ・ 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- ・ 気分が悪い時は医師の手当て/診察を受けること。

##### 皮膚に付着した場合

- ・ 皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・ 皮膚刺激があれば、医師の診察/手当てを求めること。
- ・ 気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

##### 眼に入った場合

- ・ 一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。不十分であると不可逆的な眼の傷害を生ずるおそれがある。
- ・ コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- ・ 眼の刺激が持続する場合は、医師の診察/手当てを受けること。

##### 飲み込んだ場合

- ・ 直ちに医師の連絡すること。
- ・ 口をすすぐこと。
- ・ 吐かせないこと。

##### 予想される急性・遅発性症状

- ・ 唾液分泌過多/顔面紅潮/咳/めまい/眠気/頭痛/陶酔状態/咽頭痛/吐気/嘔吐/意識喪失/呼吸停止/麻酔作用/皮膚刺激/皮膚水泡/吸入による咳/疲労感/など

##### 応急措置をする者の保護

- ・ 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

##### 医師に対する特別注意事項

- ・ 安静と医学的な経過観察が必要。

---

#### 5. 火災時の措置

##### 適切な消火剤

小火災 二酸化炭素/粉末消火剤/散水/耐アルコール性泡消火剤  
大火災 散水/噴霧水/耐アルコール性泡消火剤

##### 使ってはならない消火剤

棒状注水

##### 火災時の特有の危険有害性

- ・ 火災によって刺激性/毒性/腐食性のガスを発生するおそれがある。
- ・ 極めて燃えやすい。熱/火花/火災で容易に発火する。
- ・ 加熱により容器が爆発するおそれがある。
- ・ 屋内/屋外又は下水溝で蒸気爆発の危険がある。

##### 特有の消火方法

- ・ 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。
- ・ 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
- ・ 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
- ・ 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

##### 消火活動を行う者の保護具及び予防措置

- ・ 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
-

SDS 登録 No.00330192-JP4

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
- ・直ちに、すべての方向の適切な距離を漏洩区域として隔離する。
- ・作業者は適切な保護具（「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- ・風上に溜まる。低地から離れる。
- ・密閉された場所に入る前に換気する。

### 環境に対する注意事項

- ・河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法・機材

- ・少量の場合、乾燥土・砂・不燃材料で吸収し、あるいは覆って、密閉できる空容器に回収する。
- ・大量の場合、盛土で囲って放出を防止し安全な場所に導いて回収する。
- ・機材・危険でなければ漏れを止める。

### 二次災害の防止策

- ・漏出物を取り扱うときに用いるすべての設備は接地する。
- ・蒸気発生が多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。
- ・排水溝/下水溝/地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
- ・関係個所に通報し応援を求める。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

- ・「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- ・周辺での高温物/スパーク/火気の使用を禁止する。禁煙。
- ・「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。
- ・液の漏洩や蒸気の発散を極力防止する。

#### 安全取扱い注意事項

- ・眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。
- ・眠気/めまい/呼吸器の刺激/器官の損傷のおそれがあるので、本製品に接触/吸入/飲み込みをしてはならない。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
- ・取扱後はよく手を洗うこと。
- ・屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

#### 接触回避

- ・「10. 安定性及び反応性」を参照。
- ・高温物/スパーク/火気を避け、酸化性物質/有機過酸化物との接触を避ける。

#### 衛生対策

- ・保護具は保護具点検表により定期的に点検すること。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

### 保管

#### 安全な保管条件

- ・熱/火花/裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。

## SDS 登録 No.00330192-JP4

## 製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

- ・ 容器を密閉して換気の良い場所で貯蔵する。
- ・ 冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。
- ・ 酸化剤から離して保管すること。
- ・ 容器は直射日光や火気を避けること。
- ・ 保管場所は耐火構造、床は不浸透性のものとし、地下への浸透や外部への流出を防止する。
- ・ 指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。

## 安全な容器包装材料

- ・ 消防法及び国連輸送法規で規程されている容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		<アセトン>500ppm
許容濃度	日本産業衛生学会	<アセトン>200ppm <n-ヘプタン>200ppm
	ACGIH	TLV-TWA <アセトン>500ppm <n-ヘプタン>400ppm
		TLV-STEL <アセトン>750ppm <n-ヘプタン>500ppm

## 設備対策

- ・ 防爆の電気/換気/照明機器を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・ この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置すること。
- ・ 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
- ・ 「火気厳禁」「関係者以外立入禁止」等の必要な標識を見やすい個所に掲示すること。
- ・ 安全管理のために状況に応じてガス検知器を設置すること。

## 保護具

## 呼吸器用保護具

- ・ 適切な呼吸器保護具（有機ガス用防毒マスク、高濃度の場合は送気マスク空気呼吸器）を着用すること。

## 手の保護具

- ・ 適切な保護手袋を着用すること。

## 眼、顔面の保護具

- ・ 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。

## 皮膚及び身体の保護具

- ・ 保護靴、耐油性（不浸透・静電気防止対策用）前掛け、防護服（静電気防止対策用）等の保護具を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 淡黄色透明～淡黄色微濁
臭い	: 刺激臭
融点/凝固点	: データなし <アセトン>-95℃ <n-ヘプタン>-91℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし <アセトン>56.5℃ <n-ヘプタン>98℃
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし <アセトン>202-13 <n-ヘプタン>1-7 (vol%)

## SDS 登録 No.00330192-JP4

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

引火点	: -4°C
自然発火点	: データなし <アセトン>540°C <n-ヘプタン>285°C
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に不溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし <アセトン>-0.24 <n-ヘプタン>4.66 (log Pow)
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 0.69 (20°C)
相対ガス密度	: データなし <アセトン>2.0 <n-ヘプタン>3.46 (g/cm <sup>3</sup> )
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用、保管、輸送条件下で起こる既知の危険な反応はない
化学的安定性	通常の取り扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	強酸化剤と激しく反応し、火災/爆発の危険性をもたらす。 塩酸の存在下、クロロホルムを加えると高い発熱反応を起こす。
避けるべき条件	フレイム及びスパーク発生装置から遠ざける。高温暴露。
混触危険物質	酸化性物質。
危険有害な分解生成物	高温で分解して以下の有害物質を発生する可能性がある。 280°C → フッ素樹脂モノマー、フッ化カルボニル 450°C → フッ化水素 (HF)

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

経口	<アセトン>	LD50>5000mg/kg (ラット)
	<n-ヘプタン>	データなし
経皮	<アセトン>	LD50>5000mg/kg (ウサギ)
	<n-ヘプタン>	データなし
吸入 (蒸気)	<アセトン>	LD50>75.8mg/l (ラット)
	<n-ヘプタン>	LC50>12927ppm/4h
吸入 (ミスト)	<アセトン>	データなし
	<n-ヘプタン>	データなし

## 皮膚腐食性/刺激性

<アセトン>・ウサギの皮膚に対して刺激なし。

<n-ヘプタン>・ヒトへの影響として皮膚への接触により刺激性が認められるとの報告がある。

⇒区分2

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

<アセトン>

- ・蒸気はヒトの眼を刺激する。しかし暴露が止まると刺激性は続かない。
- ・ウサギでは severe という結果が報告されている。
- ・角膜上皮は破壊されるが、基質までは至らず、角膜上皮の破壊は4-6日で回復する。腐食

## SDS 登録 No.00330192-JP4

## 製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

性の眼刺激性ではない。

<n-ヘプタン>

・ウサギを用いた眼刺激試験において軽度な刺激性が認められる、眼を刺激するとの報告がある。

⇒区分 2A-2B

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

<アセトン>

・ Mouse ear swelling test 及び Guinea pig maximization test で陰性。呼吸器感作性データはなし。

<n-ヘプタン> ・ データなし。

**生殖細胞変異原性**

<アセトン> ・ in vitro 小核試験で陰性。

<n-ヘプタン> ・ データなし。

**発がん性**

<アセトン> ・ A C G I Hグループ A4（ヒト発がん性に分類できない物質）

<n-ヘプタン> ・ EPA(1996)で D に分類されている。

**生殖毒性**

<アセトン>

・疫学調査で流産への影響なし。

・ラットの高濃度暴露でわずかな発生毒性（胎児体重減）が、マウスの高濃度暴露で胎児体重減/後期吸収発生率増が報告されている。

⇒区分 2

<n-ヘプタン> ・ データなし。

**特定標的臓器毒性(単回ばく露)**

<アセトン>

・ヒトへの 12000ppm の暴露で喉の刺激、200mL を飲み込んだ男性に昏睡（12 時間後意識回復）、12000ppm 暴露した労働者に頭痛/めまい/足の脱力/失神及びラットの吸入試験で中枢神経抑制が認められている。

・麻酔作用を有する。

・吸入すると上部呼吸器系を刺激する。

・1190、2400mg/m<sup>3</sup>/6h の暴露で鼻/喉/気管の刺激、1000ppm/4h の暴露で喉の刺激が報告されている。

⇒気道刺激/麻酔作用：区分 3

<n-ヘプタン>

・ラット又はマウスを用いた吸入暴露試験において麻酔作用及び気道刺激性が認められたとの報告、ならびにヒト暴露例において中枢神経抑制や粘膜刺激性が認められたとの報告がある。

⇒気道刺激/麻酔作用：区分 3

**特定標的臓器毒性(反復ばく露)**

<アセトン>

・ボランティアによる試験で 500ppm、6 時間/日、6 日の暴露群に白血球、好酸球の有意な増加及び好中球の貧食作用の有意な減少が観察されている。

・ラット、マウスの試験でもガイダンス上限値を大きく超えた投与量ではあるが、ヒトに見



## SDS 登録 No.00330192-JP4

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

られたと同様な血液学的変化が認められた。

⇒血液：区分 2

<n-ヘプタン> ・ 肝臓に影響を与え機能障害を生じることがあるの報告がある。

⇒肝臓：区分 2

**誤えん有害性**

<アセトン>

・ 動粘性率は計算値で 0.426mm<sup>2</sup>/sec、化学性肺炎の動物データが無いが、C13 以下のケトンである。

⇒区分 2

<n-ヘプタン> ・ 炭化水素であって、かつ動粘性率が 20°C で 0.61mm<sup>2</sup>/sec である。

⇒区分 1

**12. 環境影響情報****生態毒性**

<アセトン> ・ 魚類、ファットヘッドミノール LC50>100mg/L/96H ⇒ 区分外

<n-ヘプタン> ・ 甲殻類ミシッドシュリンプ LC50=0.1mg/L/96H (HSDB2006) = 区分 1

**残留性・分解性**

<アセトン> ・ 難水溶性でなく、急性毒性が低いことから、区分外。

<n-ヘプタン> ・ データなし。

**生体蓄積性**

データなし。

**土壤中の移動性**

データなし。

**オゾン層への有害性**

データなし。

**13. 廃棄上の注意**

**化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報**  
 残余廃棄物

焼却処分が望ましい。燃焼生成物はフッ化水素を含有する。

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の規準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性・有害性を十分告知の上処理を委託する。

**容器・包装**

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

**14. 輸送上の注意****国際規制**

国連番号 3295

品名 炭化水素類（他に品名が明示されているものを除く。）

SDS 登録 No.00330192-JP4

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

国連分類	3 (引火性液体類)
容器等級	II
海洋汚染物質	該当
国内規制	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。

---

## 15. 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 「3. 組成、成分情報」に記載  
労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物 (アセトン、ヘプタン)

名称等を表示すべき危険物及び有害物 (アセトン、ヘプタン)

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

[2023年3月31日まで] 非該当

[2023年4月1日まで] 該当 第一種指定化学物質 ヘプタン (管理番号: 731)

消防法 第4類 第一石油類 (非水溶性) 危険等級II

船舶安全法 引火性液体類

航空法 引火性液体

水質汚濁防止法 フッ素及びフッ素化合物 (施行令2条第25号)

土壤汚染対策法 フッ素及びフッ素化合物 (施行令1条第21号)

下水道法 フッ素及びフッ素化合物 (施行令9条の4第26号)

廃棄物処理及び清掃に関する法律 産業廃棄物 (第2条第4項)

---

## 16. その他の情報

### 参考資料

各原料の安全データシート

### 注記

本安全データシートの記載内容中の数値は保証値ではありません。

本注意事項などは通常的な取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いの場合には十分なご配慮を願います。また危険性有害性のデータは必ずしも十分とは言えませんので、取り扱いにはよりいっそうご注意ください。